

開催日時	平成 28 年 11 月 17 日（木） 18：00～19：25
開催場所	阿寒町公民館
参加人数	18 人
出席議員	<p>月田光明 議長</p> <p>鶴間秀典 議員（議会運営委員会委員、総務文教常任委員会委員）</p> <p>宮田 団 議員（経済建設常任委員会委員長）</p> <p>岡田 遼 議員（民生福祉常任委員会副委員長、議会広報特別委員会委員：司会）</p> <p>大澤恵介 議員（石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員）</p> <p>伊東尚悟 議員（都心部市街地整備特別委員会委員）</p>
質疑応答の内容	<p>問：民生委員協力員制度の導入の質問があるが、民生委員の仕事はハードだと感じる。民生委員を支える仕組みについて考えたいとのことだが、何か具体的な取り組みは出ているのか。</p> <p>民生委員は厚生労働大臣の任命であり、国と市町村との関係はうまくいっているのか。</p> <p>岡田：民生福祉常任委員会では、民生委員を支える仕組みづくりをこれから考えていかなければならないという議論になっている。釧路市は民生委員の充足率が全道の中でも非常に高いが、成り手が不足しているのが現状である。若い方が民生委員を担ってもらおう仕組みを議論していきたい。また、委員会において民生委員との意見交換会を行って情報共有している。</p> <p>問：2 年位前に、阿寒湖畔でカジノ誘致の話があったがどのようになっているか。</p> <p>宮田：市の方針として、IR・カジノを推進するという方針は変わってはいないが、国の方針が決まっておらず、具体的な進展はない状況である。</p> <p>問：IRとは何であるか。地元の人には利用できるのか。</p> <p>宮田：市が想定しているのは、リゾート型のカジノである。地元の方の入場の問題などは議会の中でさまざま議論されている。</p> <p>大澤：IRはカジノを含む統合型リゾートであり、会議場や展示</p>

場など多くの人に集まっていたりするような総合的な施設のことである。IR推進法が国会超党派で検討されているが、実際には審議入りしておらず、審議がなければ国の法整備もできない。法整備の結果を受けて、釧路としてどのように進めていくかということになる。

問：10月28日に道東6市の町内会の大会の時に、新栄町では津波時に逃げる場所がない、高い建物が無いというような話があった。10mクラスの大きな津波のときはどうにもならないと思うが、市民に対しどのように答えるのか。

鶴間：津波の避難に関しては、揺れてから30分以内に逃げて下さいとなっており、車での避難も考えられている。一時避難所までは行けるという想定になっているが、冬期間や障がい者、高齢者の対応は厳しい。地域力で対応し防災力を高めてほしい。

問：各町内会は高齢者が多く一時避難で逃げようがない。

大澤：地域でいうと、新栄町は30分以内の避難であれば日赤病院や労災病院などがあり、災害時の協定を結んでいるので、病院の上階への避難は可能である。一番大事なのは命をしっかりと守るということであり、地区連では道営住宅や市営住宅にお住まいの住民と事前協議を行い、災害時には上層階の踊り場付近に一時的に避難させてもらうようにしている。地域力で対応しなければならぬ問題であり、自助、公助、共助の考え方のもと、高齢者のためにも共助の形を作っていきたい。町内会単体では難しいこともあり、小学校区内での避難ということも新たに検討されているところである。

問：町内会の班長は、加入者を何回も訪れなければならない。ボランティアでやってはいるが時間もかけてもらえない。阿寒地区、音別地区では加入率は高いが市部では特に関心がなく、時間はとれないと思う。さらに未加入者が町内会で買ったゴミ箱を使っているという事情もある。

岡田：委員会の中でも同様の話題が問題になっている。若い方たちの隣人との関係が希薄化している中で、どのように関心を持

っていただけるか、しっかりと考えて進めていきたい。

問：阿寒町の道の駅のリニューアルなど、いろいろな方策を行政は行っているが、平成8年に国際ツルセンターができて、観察センターの機能をツルセンターに移設するという話になっていたが、もう20年経つ。観光の拠点施設として、観察センターにツルをもう少し置くことも方法の一つだと思う。ツルのゲージは空いており、夏場は4～5羽しかいない中で、観光客を呼ぶといってもそれで良いのか。中身を充実したものにしてもらいたい。

鶴間：皆さんの思い入れはお伺いし存じている。観察センターの施設が古くなってきて改築するという議会質問もあった。冬に比べ餌付けもしていないので夏場のツルは少なく、来館者数に波があるのも存じている。しかし、一概に夏場にゲージを作って増やせば観光客が来るのかという疑問もある。類似施設として近隣に丹頂鶴自然公園もあり、市全体としては研究体制や治療体制も整っており、PRという方向で力を使っていったらどうかと思う。環境省が施設離散の方向を打ち出しており、餌付けも減額していくような形を追随するようになってきているが、阿寒地区で守られてきたものを維持できるよう努力していきたい。

問：観察センターも耐用年数が過ぎているのであれば、耐震基準による改修など、今後改築なり新築する考えは、我々が要望すれば出てくるかどうか。役目は終わったということになるか。

鶴間：市では公共施設を統合していくというような計画を進めているが、新しくするという地元の要望があれば、その心づもりでお伝えしていきたい。

問：耐用年数が過ぎたので、分館を本館に移すのは一つでないのか。無駄をなくすのであれば壊すべきでは。

鶴間：機能移転ということで承り、皆さんにご報告させていただく。

意見：愛護会に加入しているが、餌代が減らされている。生餌を

やっているのが特色である。それを買う餌代が増えない。そんな現状もあり、多くの方に入ってもらいたい。

問：オジロワシとタンチョウの餌の取り合いは、自然界ではありえない話である。取り合いになるのは自然の風景なのか。非常に疑問であり問題視している。もともとはタンチョウの危機を救うための給餌活動、タンパク質の補給である。自然の摂理の中で役目は終わったと言えると思う。

鶴間：ツルの繁殖については、育成の過程の段階で餌付けが必要であったため、自然なものではないと思う。観光にはプラスの面があり、繁殖の成功事例としていく流れにある。

問：阿寒川のハザードマップは作る予定があるか。

鶴間：阿寒川については北海道の管理となるが、浸水の予測についてはあった方が良くと思うので、議会でも気に留めたい。

問：阿寒町富士見の公住があるが、国道沿いの2階建ての公住前にバス停があって台風の時に飛んでしまった。富士見3丁目であるがバス停が欲しいと思って調べたら民間業者が作成したものでバス会社で作ってもらうのはどうしてよいかわからない。立派なものでなくていいから屋根だけあればよく、空き家の物置でもいいから持ってきてほしいがどうか。

高齢化社会の交通事故は全国で問題になっている。免許を離せない理由の一つに交通の便が悪いため、病院通いのために免許更新しているということがある。阿寒地区はバスを1本逃したら、次はいつ来るかわからないような状態だし、白糠と比べても料金が高いと思う。議会で話題にしてほしい。

岡田：議員の中で意見を共有し、そのような意見があったという事で今後の活動につなげていきたい。

月田：バス停そのものがないのか、小屋がないのか

意見：バス停ではなく、待機する小屋が欲しい。

問：図書館を都心部に置くことによって、活性化するというメリットがあるようだが、議会としては金銭的な面ではどうなのか。

	<p>鶴間：金銭的には北大通に3階以上3フロア5,000㎡で、他の物件同様に不動産鑑定を予め行ったところ、月額1,440万円程度であった。議会としては議決前に、自主建築したほうが良いのではないかと試算を出したが、今回の不動産鑑定額は高いという意見が多く、改めての算定結果が月額1,424万円となり、30年間で約6,000万円程の減額の賃料となったという経過である。</p> <p>議会を含めて利用者を増やす努力をしていきたい。</p>
	<p>問：釧路地区における町内会加入率が47パーセントということで、どんどん町内会がなくなっている。阿寒地区や音別地区では信じられないが、厳しい町内会の現状を認識しながら加入率上昇に協力願いたい。</p> <p>岡田：町内会の加入については毎回議論になっているが、平成27年6月議会で加入促進の検討や負担軽減を計画しているとの報告があった。</p>
<p>議会への 意見・要望</p>	<p>問：話が早くついていけない。事前に資料を配布いただけるとわかりやすい。</p> <p>岡田：パワーポイントの資料をお配りして、それに基づき説明しているが、広報委員として今後わかりやすく説明できるよう努めていきたい。</p>
<p>市への 意見・要望</p>	<p>問：この会場の駐車場が足りない。今まで何回も要望したが予算が見つからない。大きな行事があると公民館と行政センターの駐車場では不足することが多い。舗装しなくて良いので芝生部分を駐車場にしてもらいたい。</p> <p>岡田：ご意見として受けとめ、行政に申し伝えてまいりたい。</p>